



注目ポイント

- ✓先週、日銀の植田総裁が、追加利上げ時期について「近づいている」と述べたと伝わったことや、金融引き締めに慎重な「ハト派」で知られる中村審議委員が利上げに前向きと思われる発言をしたことが、金利上昇圧力となるも、「日銀、利上げ見送り」という一部通信社のコラムや、韓国の政治混乱が金利の低下材料とされ、国内金利はほぼ横這いで推移した。一方で、堅調な米株の影響や公的年金(GPIF)の運用目標引き上げ期待、米国の対中半導体規制強化で主要同盟国を適用除外としたこと等を追い風に日経平均は堅調に推移した。
- ✓今週は、日米の各市場とも翌週に決定会合ウィークを控え、徐々に様子見ムードが強まることが予想されるが、日本では9日発表のGDP(7-9月改定値)や、週末13日発表の日銀短観等を確認しながら、また米国では11日発表のCPI等を材料に、日米金融政策の行方を占うことになる。
- (門倉英司)

①マーケット動向(実績データ)

2024年12月2日

～

2024年12月6日

市場・指標			12月2日 ～ 12月6日		12月6日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
株式	日本	日経平均 (円)	39,632	37,959	39,091	+883	+2.3%	
	米国	NYダウ (ドル)	45,074	44,575	44,643	-268	-0.6%	
	ドイツ	DAX (ポイント)	20,426	19,569	20,385	+758	+3.9%	

市場・指標			12月2日 ～ 12月6日		12月6日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			最高	最低	終値	変化幅(%)	
金利 (国債)	日本	10年 (%)	1.085	1.040	1.045	-0.005	
	米国	10年 (%)	4.28	4.13	4.15	-0.02	
	ドイツ	10年 (%)	2.13	2.03	2.11	+0.02	

市場・指標			12月2日 ～ 12月6日		12月6日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	変化幅(円)	
為替	米ドル (円)		151.23	148.65	150.00	+0.23	
	ユーロ (円)		159.58	156.18	158.55	+0.14	
	豪ドル (円)		98.02	95.52	95.87	-1.64	

市場・指標			12月2日 ～ 12月6日		12月6日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
その他	日本	東証リート (ポイント)	1,667	1,642	1,642	-21	-1.2%	
	米国	NY原油 (ドル)	70.51	66.98	67.20	-0.8	-1.2%	
		NY金 (ドル)	2,682	2,636	2,660	-21	-0.8%	

(注) Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成。休日・休場の場合は、その前営業日の値を使用して作成してあります。

②マーケット動向(振り返り&予想)

2024年12月9日 ~ 2024年12月13日

株式

様子見ムード強まるも、上値をうかがう

日経平均株価
【予想レンジ】 38,750 円 ~ 39,750 円

- 先週の日経平均は、大幅上昇。公的年金(GPIF)の運用目標引き上げ期待や、米国の対半導体規制強化で主要同盟国を適用除外としたこと等を追い風に日経平均は堅調に推移し、5日には一時39千632円まで上昇する場面も。週末には利食い売りが優勢となるも、39千円での底堅さが確認された。
- 今週の日経平均は、堅調な米株の影響や、先週末に39千円近くまで下落していることもあり、再度上値を試す展開を予想する。先週確認された、39千円の底堅さの一方で、40千円台手前の利益確定売りも相当に予想されることや、来週に日米金融政策決定会合を控え、徐々に様子見ムードが強まることが予想されることから、39千円台を中心としたレンジ取引になろう。

金利
(国債)

長期金利はもみ合い、やや上昇か

10年国債利回り
【予想レンジ】 1.030 % ~ 1.090 %

- 先週の長期金利は、もみあい。日銀の植田総裁や金融引き締めに慎重な「ハト派」で知られる中村審議委員が利上げに前向きと思われる発言をしたことが、金利上昇圧力となるも、「日銀、利上げ見送り」という一部通信社のコラムや、韓国の政治混乱が債券の買い(金利は低下)材料となり、ほぼ横這いとなった。
- 今週の長期金利はもみ合い、やや上昇か。足元、今月の日銀追加利上げについては、「利上げする」にやや見方が寄っている中、長期債利回りは、投資家の買いニーズから限定的な上昇となっている。今週は、9日発表のGDP(7-9月改定値)や、週末13日発表の日銀短観等を確認しながら、翌週の日銀利上げの確率を占う展開となろう。利上げ観測が低下した場合の、想定外の金利低下には注意。

為替
(米ドル)

ドル円はもみ合いか

米ドル/円
【予想レンジ】 148.50 円 ~ 151.00 円

- 先週のドル円は、今月の日米の金融政策変更に対する思惑が交錯する中、1ドル=150円を挟んだもみ合いとなった。3日には韓国の尹大統領が、突然の非常戒厳を発令し、その数時間後に撤回するという政治混乱が、リスク回避の円買いの材料となり、一時148円65銭まで円高となったが、その流れはほぼ終息した。
- 足元、今月の米利下げ観測が根強い一方、日銀の利上げの可能性も相応に高いことから、今週のドル円は上値の重い地合いが継続すると予想。米国では、今週からFOMC前のブラックアウト期間に入りFRB高官からの直接的メッセージは発せられなくなるため、11日発表のCPI等が材料となろう。また日本では13日発表の日銀短観が、日銀の金融政策判断に影響を与える可能性もあり要注目。

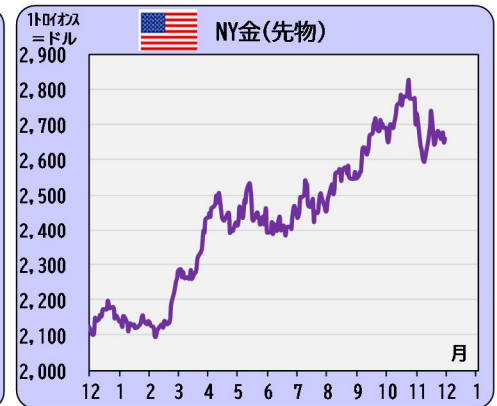
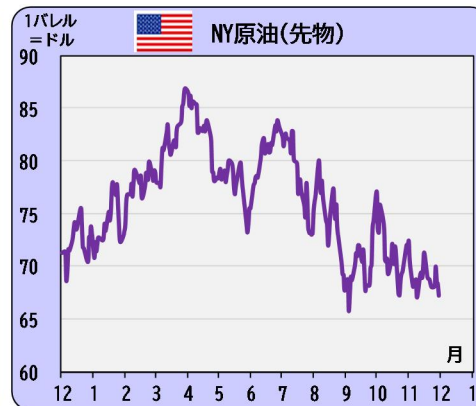
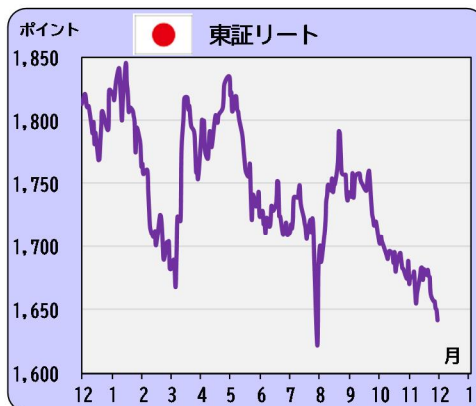
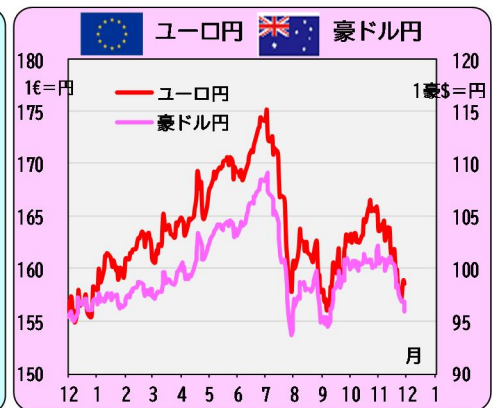
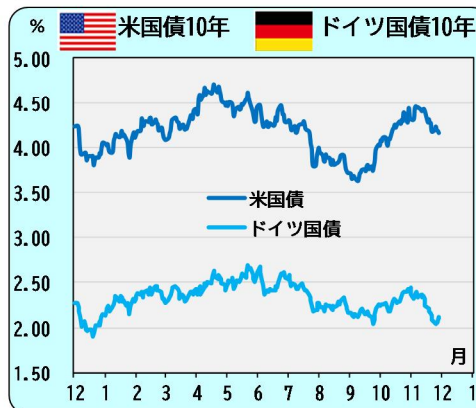
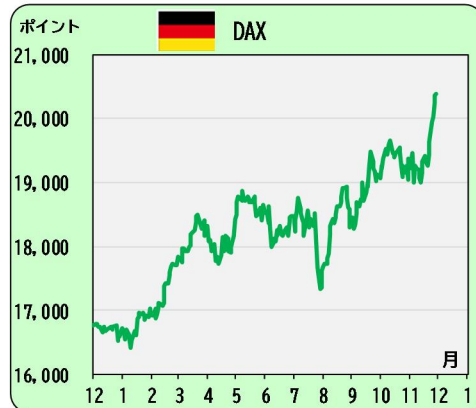
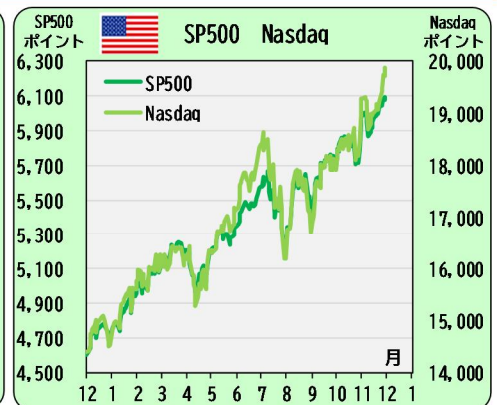
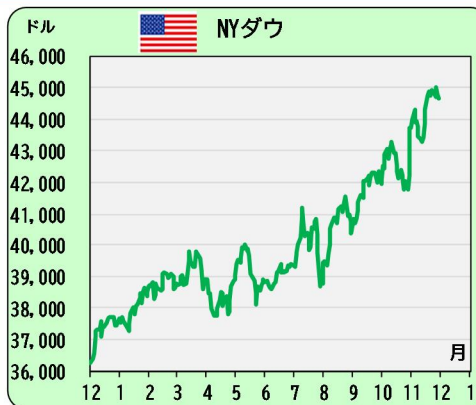


○今週の注目指標 ※内容および日程が変更される場合があります。

月 日	国 内	海 外
12/9(月)	GDP(7~9月)二次速報値 国際収支統計(10月) 景気ウォッチャー調査(11月)	
12/10(火)	国債入札(5年)	米国: 国債入札(3年)
12/11(水)	国内企業物価指数(11月)	米国: 国債入札(10年) 米国: CPI(11月) 米: 財政収支(11月)
12/12(木)		1-0: ECB定例理事会 米国: 国債入札(30年) 米: PPI(11月)
12/13(金)	日銀短観(2024年12月調査)	

③その他チャート集

直近1年間



※Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成

※頻出英字略称用語一覧

略称	正式名称	略称	正式名称	略称	正式名称
CTFC	米商品先物取引委員会	FTA	自由貿易協定	PCE	個人消費支出
CPI	消費者物価指数	GDP	国内総生産	PER	株価収益率
ECB	欧州中央銀行	IMF	国際通貨基金	PMI	購買担当者景気指数
ETF	上場投資信託	IEA	国際エネルギー機関	PPI	卸売物価指数(生産者物価指数)
EU	欧州連合	ISM	米供給管理協会	SQ	特別清算指数
FDI	海外直接投資	OECD	経済協力開発機構	TPP	環太平洋経済連携協定
FF	フェデラルファンド	OPEC	石油輸出国機構	WSTS	世界半導体市場統計
FOMC	米公開市場委員会	OPEC+	OPEC加盟国と非加盟国の枠組み	WTI	ウエストテキサスインターミディエート(原油)
FRB	米連邦準備理事会	PBR	株価純資産倍率	YCC	イールドカーブコントロール

●ご留意事項

- ・本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、発行日午前9時までの情報にもとづく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源にもとづいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。最終的な投資判断はお客様ご自身でなさるようお願いいたします。
- ・本レポートに関するお問い合わせは浜銀総合研究所・調査部までお願いします。